

広報

# かわにし

(毎月10日発行)

平成5年 12/10 No.424

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (TEL 0257-68-3111)  
(FAX 0257-68-3828)  
発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

人口の動き  
— 12月1日現在 —

男	4,337 (+2)
女	4,415 (+2)
計	8,752 (+4)
世帯数	2,223 (-1)

( ) は前月比較



## 白倉地域で恒例の自慢会

— 11月3日 白倉小学校 —

「白倉自慢会」は、白倉地域の村おこし事業であるとともに、錦鯉やしめ縄、農産物の展示即売などをするイベントとして地域外にも知られており、多くの人でにぎわいました。

この催しも今年で7回目。名物となったジャンボカボチャ作りの競技には77個が集まりました。冷夏のせい、例年より小さめで、重量も半分程度だったようです。それでも、1位は79.7キロ(田中正義さん作)ありました。

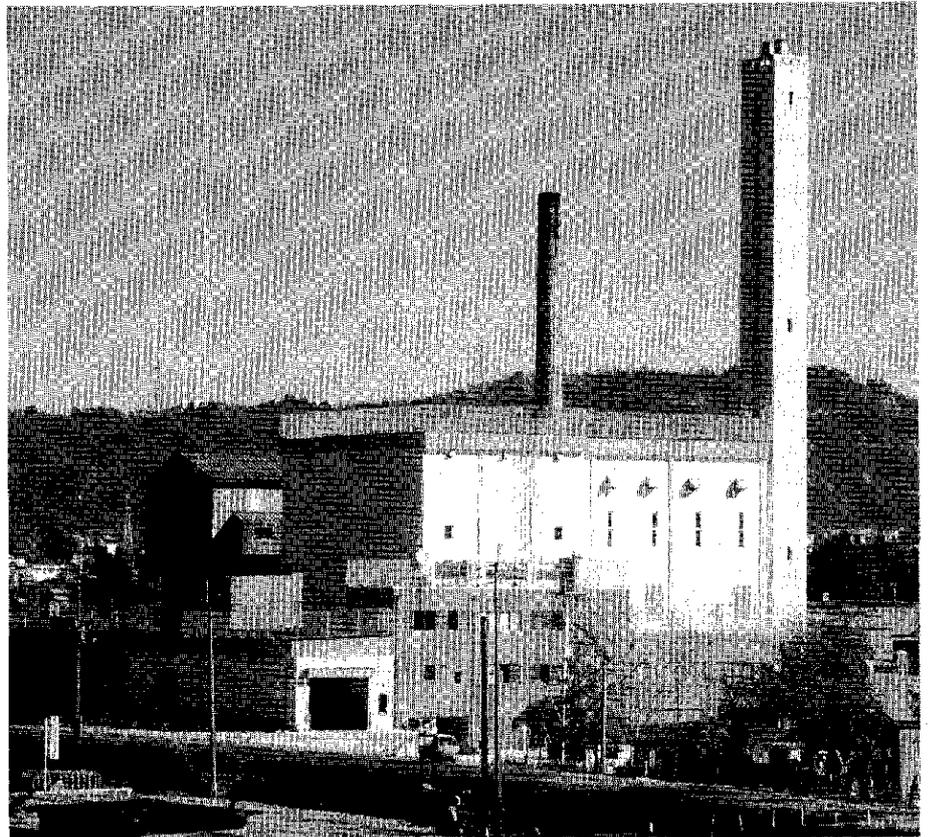
### 休日救急医

- |        |                         |           |
|--------|-------------------------|-----------|
| 12月12日 | 池田医院(本町西)               | ☎ 52-2581 |
| 19日    | 中条病院(中条)                | ☎ 57-3018 |
| 23日    | 大熊内科医院(山本町)             | ☎ 52-7066 |
| 26日    | 山口医院(袋町)                | ☎ 52-2174 |
| 29日    | 山口医院(下条)                | ☎ 55-2003 |
| 30日    | 大島医院(川原町)               | ☎ 52-2957 |
| 31日    | 第二藤巻医院(上野)              | ☎ 68-2018 |
| 1月1日   | 国保診療所(高原田)<br>(クリニック川西) | ☎ 68-2034 |
| 2日     | 池田医院(本町西)               | ☎ 52-2581 |
| 3日     | 大熊内科医院(山本町)             | ☎ 52-7066 |
| 9日     | 庭野医院(寿町)                | ☎ 52-2711 |

## 最新鋭の清掃工場が本稼働

# 新ごみ焼却場が完成

平成三年十二月から建設が進められていた「ごみ焼却場」が九月三十日完成し、十月一日から本稼働しました。総事業費三十七億三千万円を投じた新焼却場は、集中管理方式により自動化され、一日当たり九十トンを処理できる公害防止設備を備えた近代清掃施設です。そして、処理能力のアップとともに、これまでできなかった家具や畳、建具などの大型粗大ごみも処理できるようになりました。八月からの試運転も業務体制の整備や各種データ、機械調整を終了し、本格的に業務が開始されました。五十九本の煙突からは煙が見えず、焼却場のイメージを一変させています。

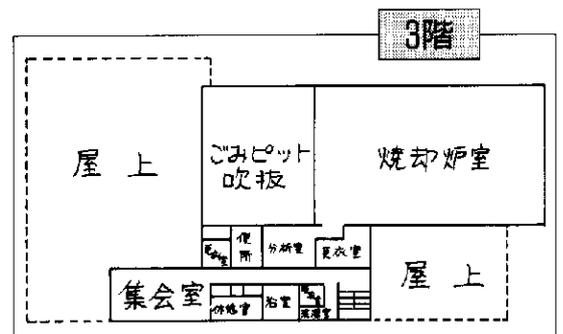
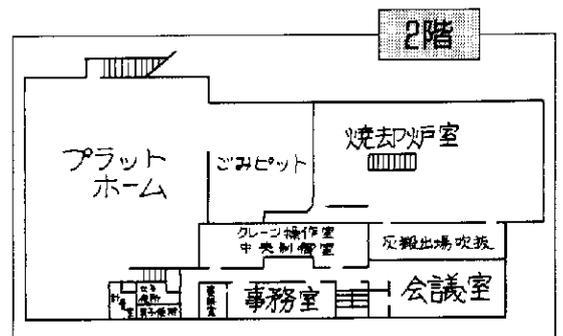


### 新焼却場の概要

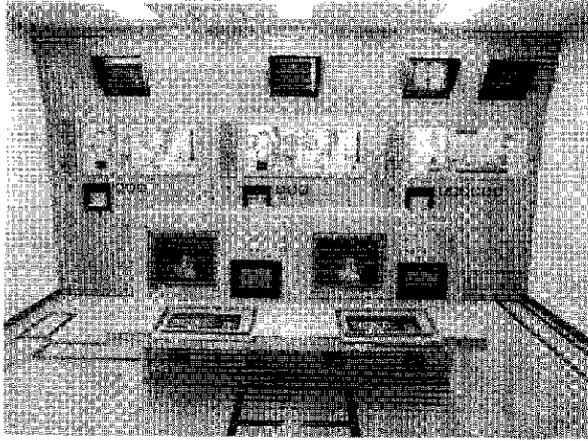
- 名称：エコクリーンセンター  
 工期：平成3年12月～5年9月  
 事業費：約37億3千万円  
 〈ごみ焼却処理施設〉
1. 処理能力：90t/H (45t/16h×2炉)
  2. 炉型式：准連続燃焼式
  3. 給じん方式：ピットアンドクレーン方式 ごみクレーン…2基
  4. 灰出方法：ピットアンドクレーン方式
  5. 通風方式：平衡通風方式
  6. 煙突：1基2筒59m
  7. ガス処理方式：ろか式集じん方式 バッグフィルター2基
  8. 余熱利用：施設内給湯及び暖房 構内道路、ロードヒーティング
  9. 汚水処理方式：凝集沈澱、ろ過処理後再利用
- 〈粗大ごみ処理施設〉
1. 処理能力：6t/5h可燃性粗大ごみ
  2. 破砕型式：油圧せん断式
  3. 受入方式：投入ホッパ方式

なお、この施設は、皆さんが毎月納めている厚生年金・国民年金積立金の還元融資を受けて建設されたもので、みんなの年金積立金がこんなところに役立っています。

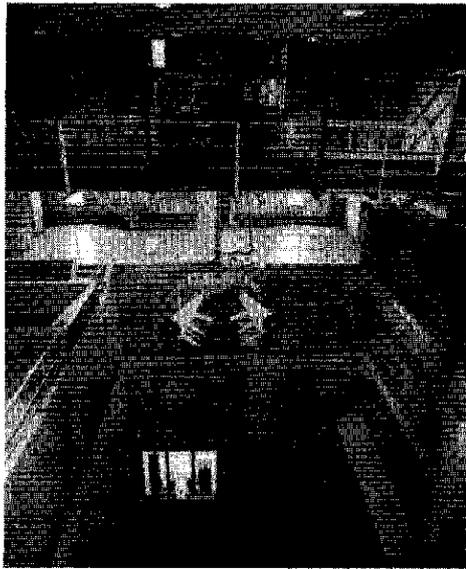
また、新焼却場が長く利用できるように、町民の皆さんからごみの持ち込みや出し方について注意を払ってもらい、ごみの減量化に協力していただきたいと思います。



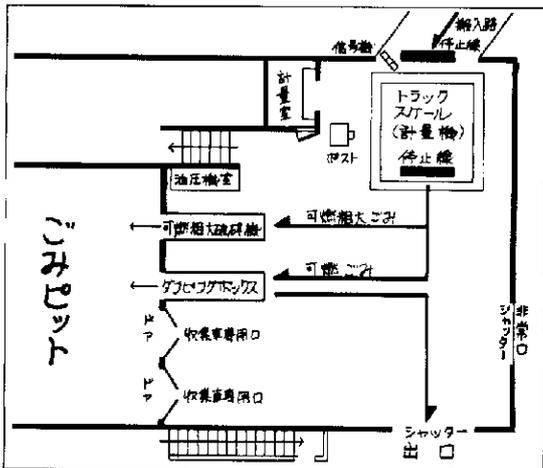
- ◆地下1階…ごみピット・排水貯流室など
- ◆1階…ごみピット吹抜、電機室、機械室、灰搬出場など
- ◆4・5階…ごみピット吹抜、焼却室など



中央制御室兼クレーン操作室



ごみピット及びごみクレーン

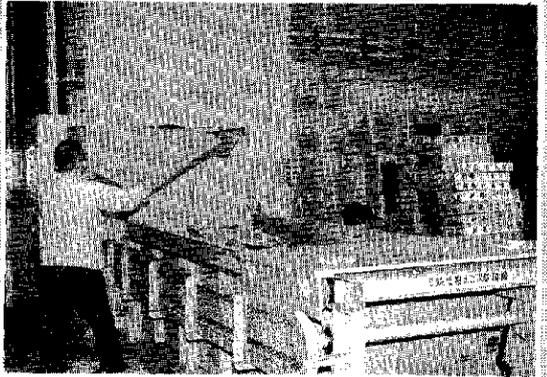


## ごみの持ち込みの順路

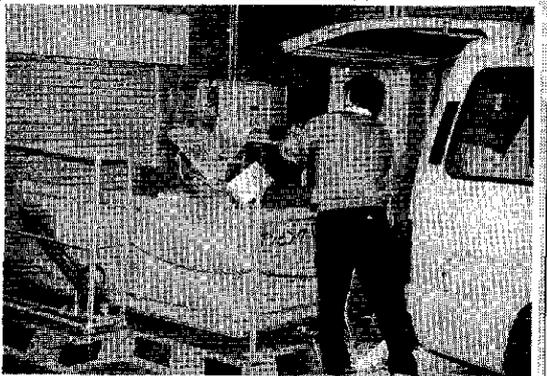
①車(ごみ)の計量をします。計量機(鉄板)の上で停止してください。次の車は信号が赤の場合は待機です。



②「燃える粗大ごみ」を持ってきた人は、破砕機の隣のストックヤードにきちんと積みましよう。



③「燃える一般ごみ」を持ってきた人は、ダンピングボックスに、「袋」のときはそのまま入れてください。



## ごみの持ち込みにご協力ください

■十日町市川西町衛生施設組合 (☎52-3924)

- 持ち込み時間  
午前8時45分～午後4時45分
- 可燃性粗大ごみ  
木材、畳、ふとん、大型ダンボール、家具類(分解して)など
- 大きさは…幅90cm以内、長さ150cmまで。角材は直径9cm以内。(金具やガラス類は全部取り外してから持ち込んでください)
- ▼粗大ごみはストックヤードに積んでください。
- 一般ごみは袋のままダンピングボックスに入れてください。(ピットには直接捨てられません)
- 信号を守ってください。
- 車の計量をし、ごみの量を計ります。多少の時間はかかりますが、信号に従って青になるまで待っていてください。
- 事業主の皆さんへ  
搬入車は、同一車にしてください。車種が毎回変わると計量に時間がかかります。(登録制を予定しています)
- その他  
▼家庭ごみはできるだけステーションに出してください。  
▼ごみの分別を守り不燃物を持ち込まないでください。  
▼事業系のごみはステーションには出さないでください。

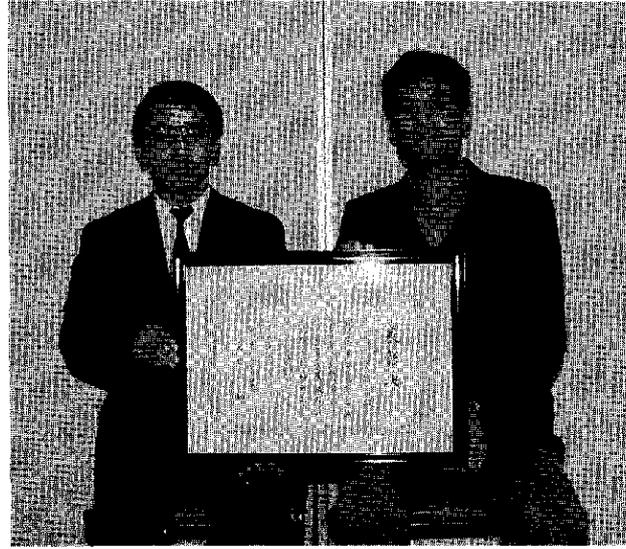
# 千手小PTAが全国表彰



## 増田さん(室島出身)が荣誉

去る十月二十九日、高齢者叙勲が発表され、当町室島出身で、元町議会議員の増田忠治さん(長岡市在住・88歳)に勲六等瑞宝章の受章が決まり、本人に伝達されました。

増田さんは、昭和二十四年に



表彰状を手に喜びの南雲会長(左)と馬場副会長

十一月十八日、東京ホテルニューオータニで日本PTA創立四十五周年記念式典(社日本PTA全国協議会主催)が開催され、席上、当町の千手小学校PTA(南雲晃会長・会員数二百二十九人)が、同会会長表彰を受賞しました。

この表彰は、PTAの多年にわたる活動が、地域社会や教育の進展に尽力した功績を認められたもの

で、新潟県では三PTAが受賞、千手小PTAがその一つに選ばれました。

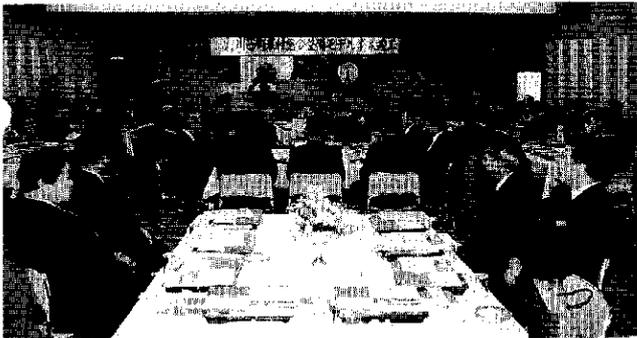
千手小PTAは昭和二十二年四月に発足。会員相互の学習の場と機会を作ること、重点を置き、学習は、視聴覚ライブラリーを利用したり、学習会などしたりしています。本年度は、新たに、自分たちの地域の自然や歴史についての学習会も実施しています。

また、会員の教養活動として、歌舞伎鑑賞や音楽・文化講演会の聴講にも取り組んでいます。地域環境の浄化活動では、「親子プランター」と称し、家庭や地域で、親子でベコニア栽培に取り組み、花いっぱい運動を展開。さらには、学区の公共施設の清掃、空き缶拾いなどの奉仕活動にも取り組んでおり、積み重ねの成果が開いたものです。

仙田村議会議員に初当選し、以来、二十一年の町村合併による町議会議員を経て、三十六年までの二期十二年六月にわたり在職し町政進展に貢献。常に住民の代表として積極的に地方自治に参与し、教育振興、福祉、医療の整備充実、生活環境整備などに力を注いだ功績が認められたものです。

## 17年の歳月をかけた

# モデル事業が完了



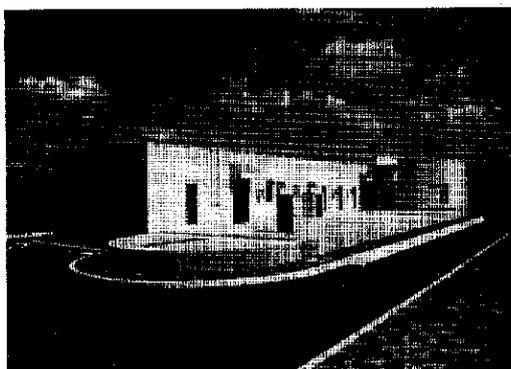
関係者が出席してしゅん工式が行われました

十一月三十日、総合センターで、農村総合整備モデル事業完工式が開催され、関係者百人が出席して完了を祝いました。

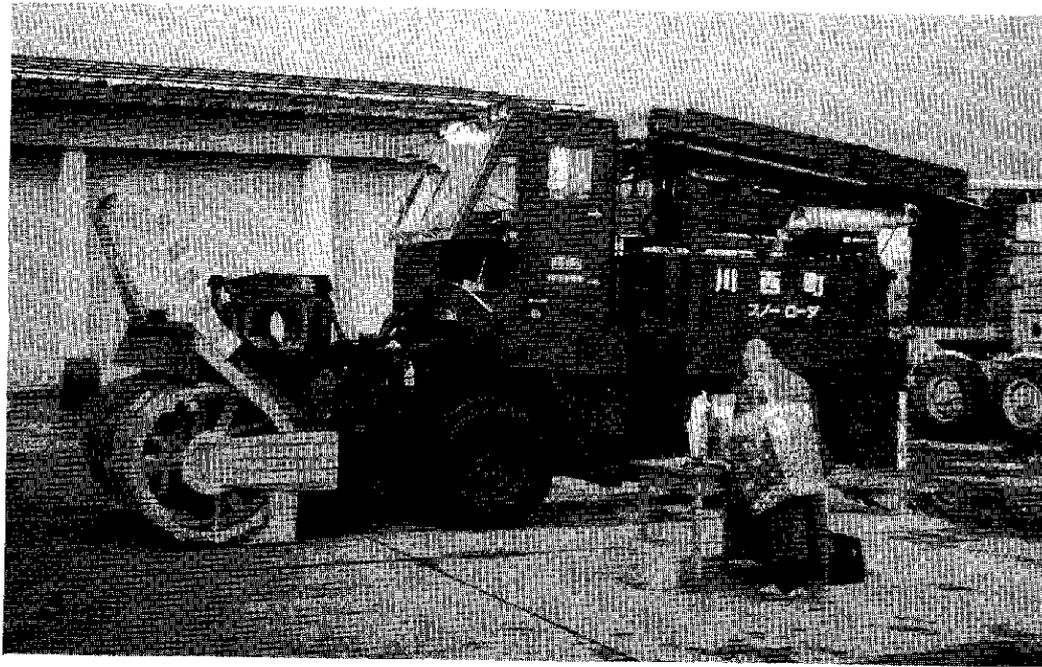
モデル事業は、昭和五十年に国土庁の指定を受け、五十二年度から事業に着手。以来、十七年の歳月をかけ、平成五年度に完了の運びとなりました。

町が本事業で実施した事業は、農業用水水施設六路線、農道七路線、農業集落道九路線、農業集落排水路三路線、農業集落排水施設(処理施設なし)五集落、農業集落排水施設(処理施設あり)六集落、フラッシュ施設一地区、防火水槽十一基、農村公園二か所で、総事業費は二十四億四千二百万円におよびます。

本事業で、地域住民要望が最も高い農業集落排水施設の整備については十九億七千九百万円が投じられ、町においても生活環境・下水道普及の水準が高められているところです。



実施した工事の代表的施設  
木落クリーンセンター

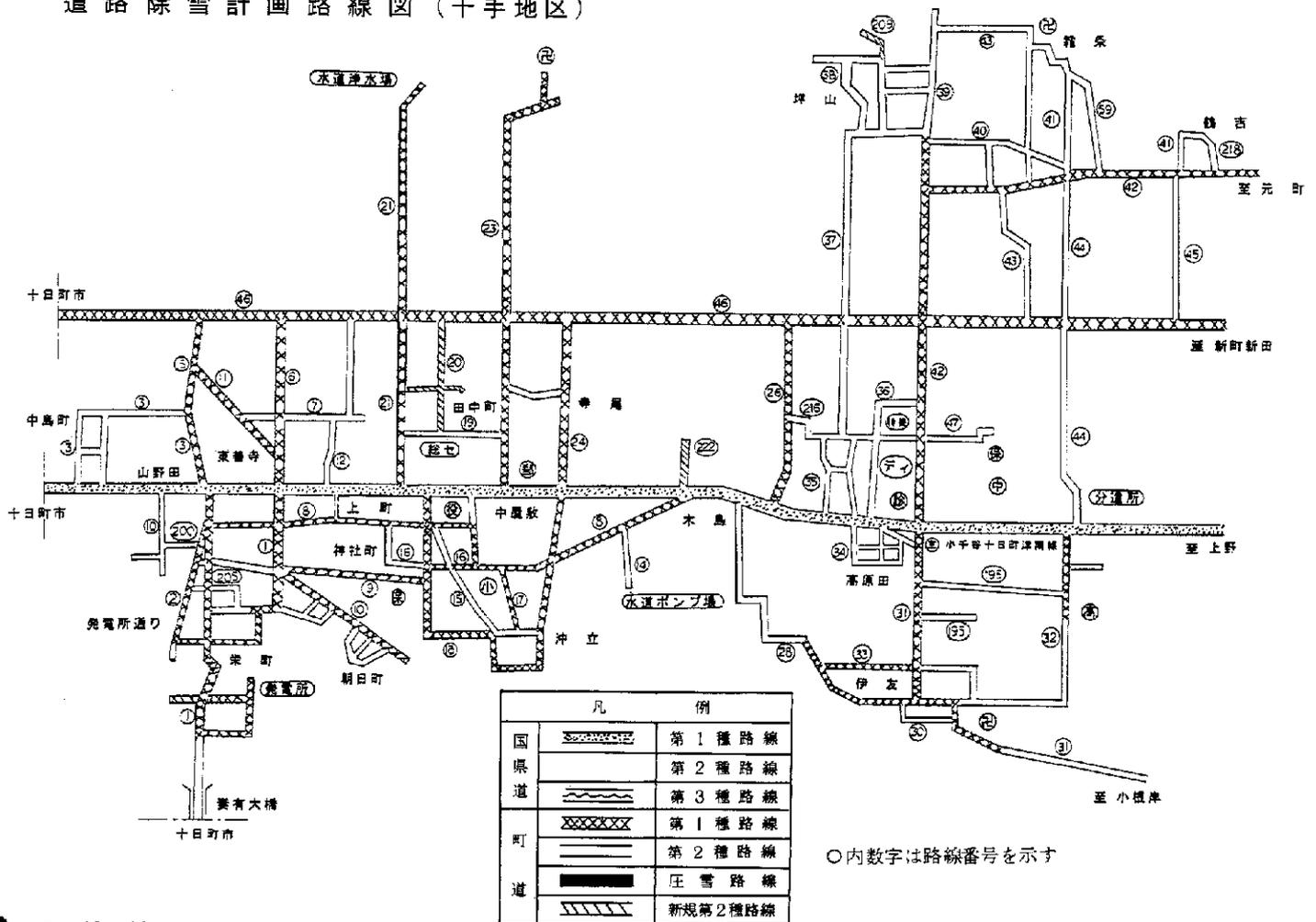


更新されたロータリー除雪車の安全祈願祭 (11. 25)

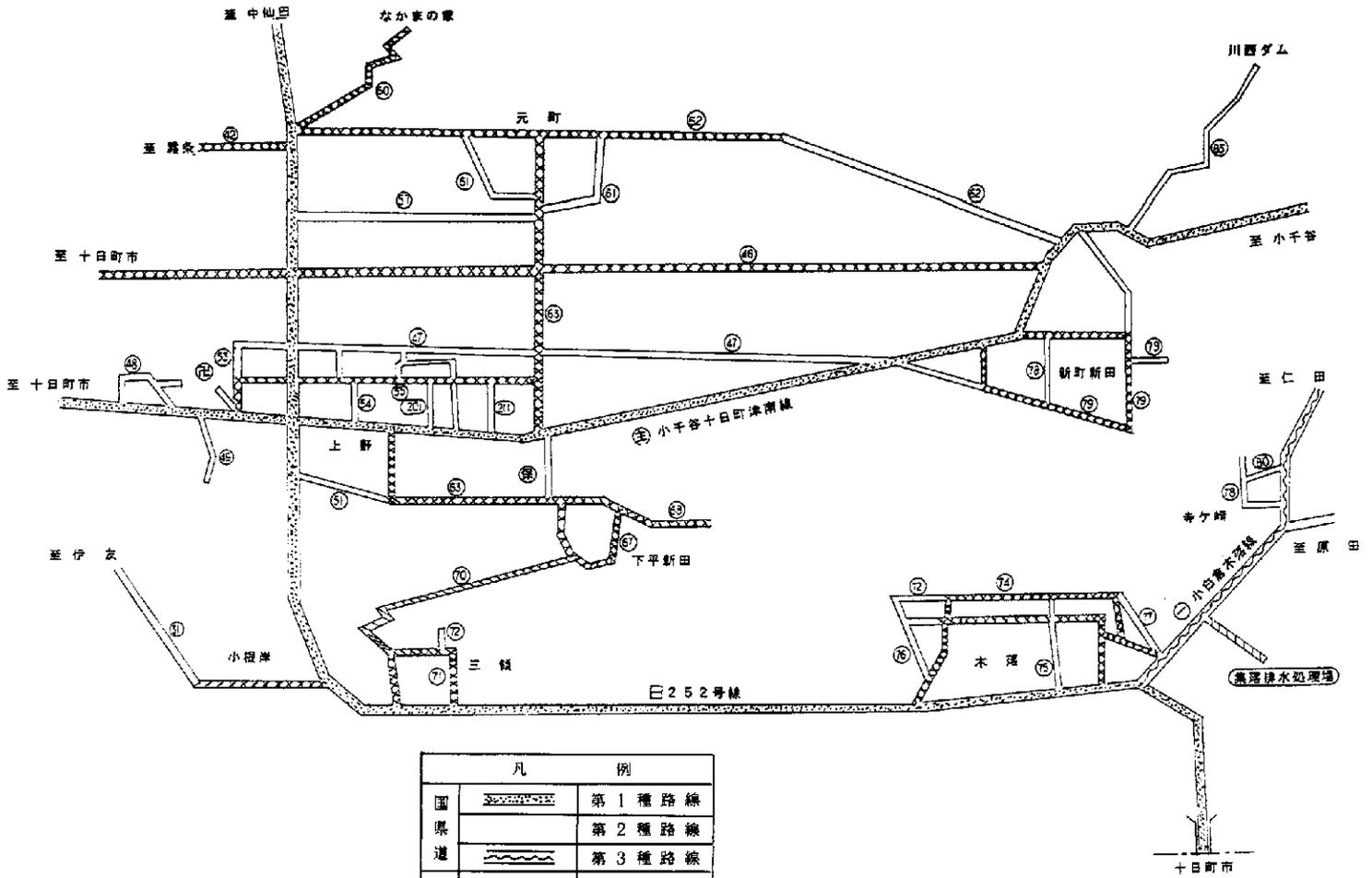
平成五年度の除雪事業は、前年度に引き続き除雪が可能となった路線を新規に組み入れ、消雪パイプ、消融雪施設を有効利用し、機械除雪を主体に実施します。  
 今年度、ロータリー除雪車一台を更新。町道の除雪延長は二・七キロ延びました。また、歩道除雪は、国・県・町道合わせて八路線、八・八キロが実施されます。

# 今冬の除雪計画

道路除雪計画路線図 (千手地区)



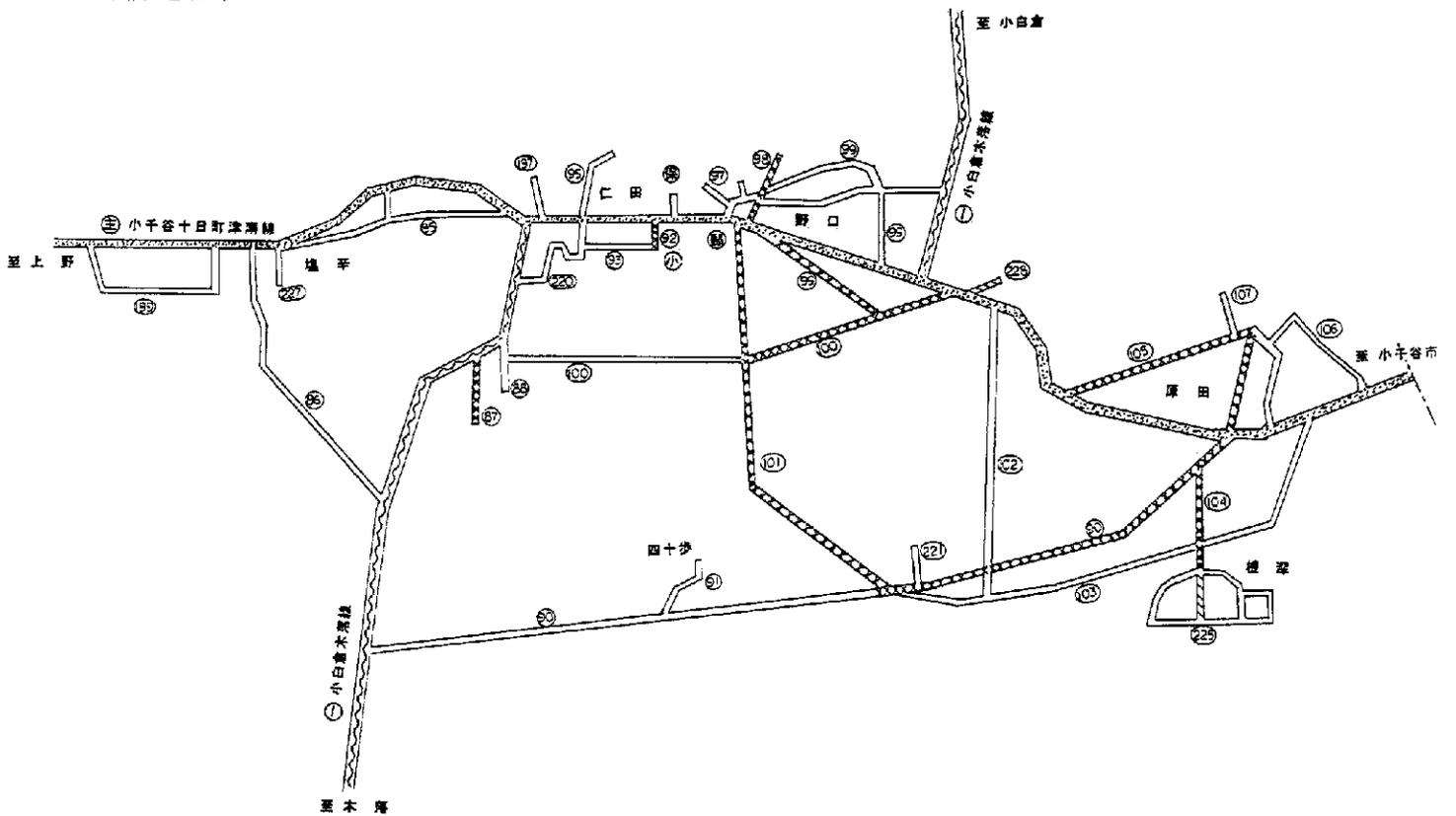
# 道路除雪計画路線図（上野・橘地区）



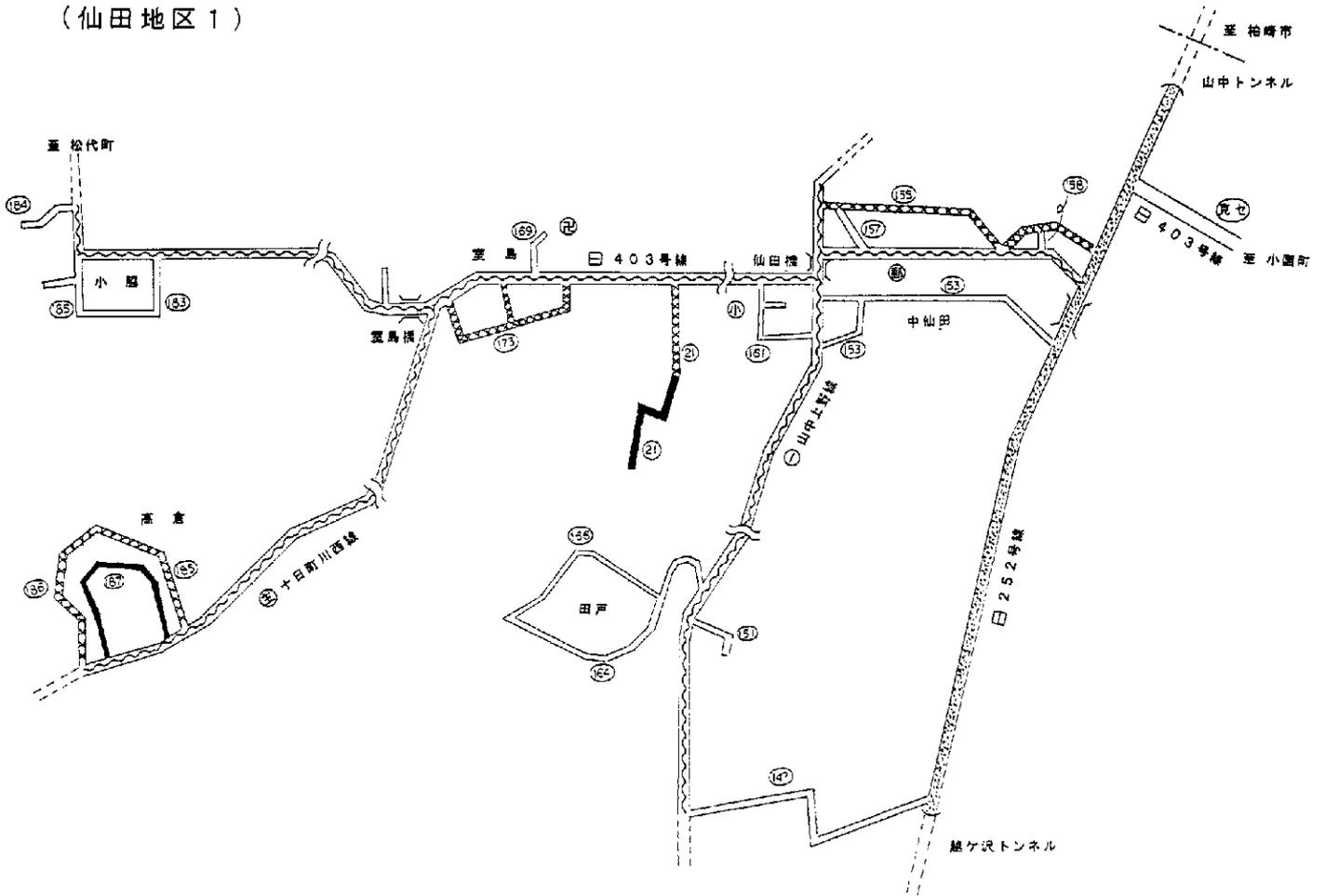
凡 例		
国 県 道		第 1 種 路 線
		第 2 種 路 線
		第 3 種 路 線
町 道		第 1 種 路 線
		第 2 種 路 線
道		圧 雪 路 線
		新 規 第 2 種 路 線

○内数字は路線番号を示す

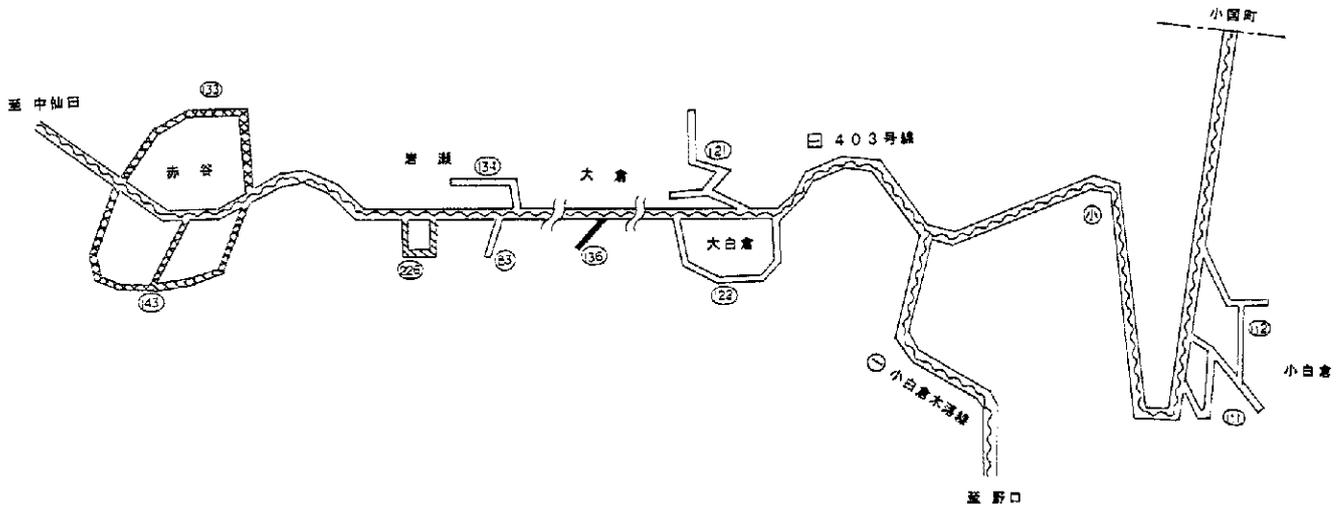
## （橘地区）



(仙田地区1)

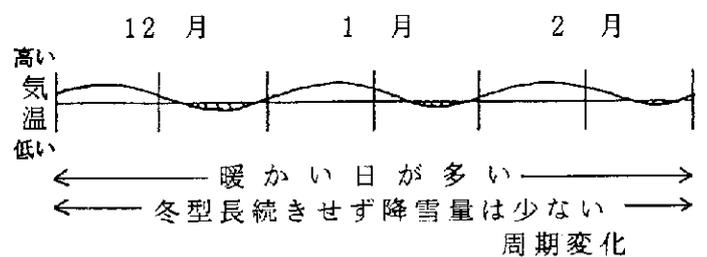


(仙田地区2)



要素	12月	1月	2月
気温	高い	高い	高い
降水量	平年並	少ない	多い
日照時間	多い	多い	平年並

おおよそのイメージ



# 町の話題あれこれ



およそ100人の参加者は、講師の話に熱心に耳を傾けていました

## みんなで考えよう まちづくり

十一月十二日、総合センターで、県地方課安藤哲也さんを講師に「町づくり講演会（やろう会（樋口純一会長）主催）が開かれました。

安藤さんは、「まちづくり」「地域おこし」には行政側にもまちづくりの視点（計画）が必要」と述べ、「だれのためのイベントなのか、そのまちの持っているいきいきとしたものを再認識する必要がある」と訴え、「当町のような過疎地域が生き残るためには、広域的な地域政策と都会との交流の推進が重要だ」と語っていました。

## 地域ぐるみで 豊かな心を育てよう

十一月十二日、川西中学校で、道徳教育の振興、充実に向けて地域ぐるみで取り組む気運を醸成しようという「心の教育フォーラム」が開催されました。

中学校「道徳」「学級活動」の授業公開をしたあと、小・中・高等学校代表四人が発表。それぞれ体験活動して学んだことを発表していました。また、地域代表一人とPTA代表一人が、地域や親の立場で発表しました。

最後に、燕曙産業社長大山治郎氏から「心の時代を生きる」わが人生を振り返って」と題した記念講演をいただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。



中学校三年生全員による合唱も披露されました



新しい作品も目を引きました

▶ 焼物教室は、二十八点が出展されました



十一月六日、七日の二日間、総合体育館と千手小学校体育館を会場に、第四回「町民文化祭かわにし93」が開かれました。第十九回目を迎えた美術展では、絵画・書道・写真の部門に町の芸術家たちの作品一七八点が展示され、第五回目となる公民館作品展には、五教室からほのぼのとした心温まる作品一五九点が集まりました。

また、なかまの家作品展、お飾り紙

研究会も同時展示。「ビデオクラブかわにし」による自作ビデオの上映、読み聞かせの会「ふきのとう」による絵巻物の上演も実施されました。

さらに、川西コンサート協会のピアノやフルート演奏、美しい歌声は、集まった人々たちを魅了。新潟市のコーラスグループも特別参加しました。

この多彩な催しに、およそ一千人が芸術の秋・文化の秋を楽しみました。



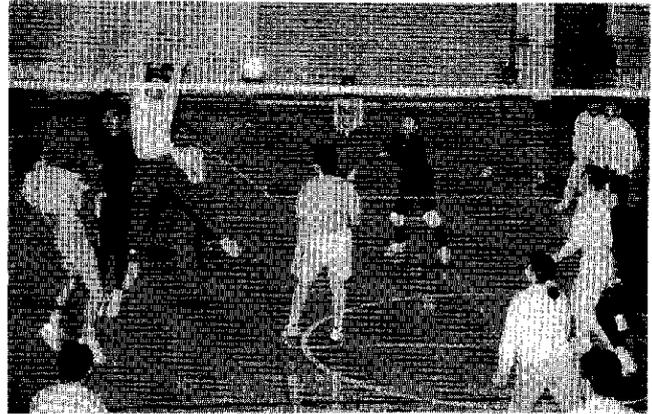
# びんがびんが館の里の里

## 12チームが熱戦

十一月二十一日、総合体育館で第二十三回町民バレーボール大会が開催されました。大会には、お父さんやお母さんたちが多数参加しているので、会場は「お父さん頑張れー。お母さんしっかりー。」と子供たちが盛んに応援。それにこたえるように好プレーが続出していました。

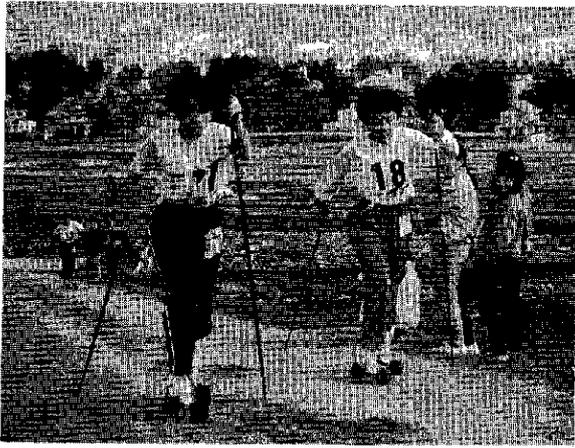
日ごろの運動不足の解消を図ろうとする方や、練習の成果を発揮しようとするチーム、それぞれが心地良い汗を流しました。ちなみに、大会の結果は次のとおりです。

- 優勝 保坂木工
- 二位 飛び入りママ
- 三位 フラッシュ 伊友バレーボーズ



ひと試合ひと試合、熱戦が繰り広げられました

## 夏場の練習の成果を試す



登り坂で懸命にローラースキーを滑べらせる選手

平成四年から、町ではクロスカントリースキーの基礎技術と競技力の向上のため、ローラースキー教室を開催しています。教室参加者に、一生懸命頑張ってきた成果を発揮する場を与えようと、去る十一月二十三日、町道羽黒市ノ越線などを利用して、「第二回町ローラースキー大会」が開かれました。今回は、妙高高原中学校の生徒十一人が特別参加、大会を盛り上げました。大会の結果は次のとおりです。(一位のみ)

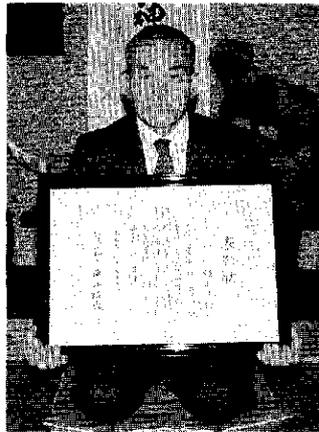
- 小学生女子(一・五km) 高橋 恵(仙田小)
- 小学生男子(二・〇km) 高橋 渉(仙田小)
- 中学生女子(二・〇km) 小林由子
- 中学生男子(二・五km) 片桐康太



がちょうの会によるコーラス



南雲 さん



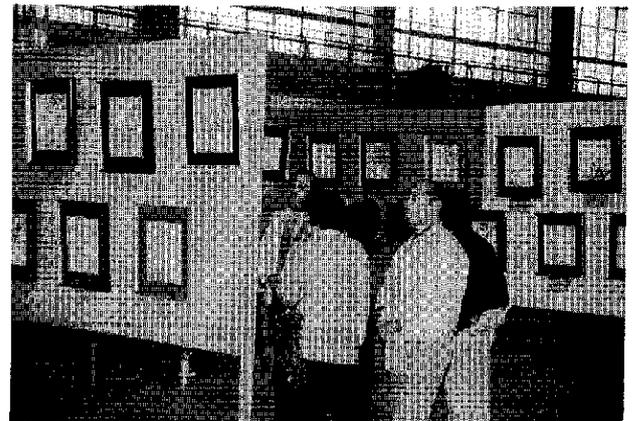
小幡 さん

## 小幡さんと南雲さんに 県知事表彰

国民年金委員として制度発展のため尽力があったとして、当町の小幡正徳さん(仁田・69歳)と南雲博さん(田中町・65歳)が、県知事から表彰されることになりました。十一月二十六日、町長室で、結城六日町社会保険事務署長からその伝達がありました。

お二人とも、昭和五十二年十二月から委嘱を受け、十五年以上の長きにわたる在職(現在も在任)され、その活動が他の模範と認められることから今回の表彰となったものです。

作品を熱心に見る 見学者



# 仙田村の学校問題 ①7

岩瀬 金子 幸 作

## 岩瀬と大倉の言い分

赤岩校と中仙田校の廃止に反対する岩瀬、大倉と中仙田川東集落の言い分を、「十日町新聞」が次のように報じている。

大きな視野に立てば松永村長の調定する一村三校案が妥当なのかも知れないが、オラは、赤岩校が消えるその上に通学距離が遠くなるこの案はとてもガマンできない。仙田と白倉の二校は高等科が併置されて昇格するというのに、オラほうだけ学校を絶やすとは何ごとか。

松永案が示された時、赤谷と岩瀬、大倉の衆が寄って良く話し合い、岩瀬と大倉は決してダダをこねているのではない、大乗的な見地に立つて協力するから、新設校を前にいちど村が決めたことのある赤谷上屋敷まで持ってきてほしい、そうすれば松永調定案に同意すると三集落が固く申し合わせたはずだ。それなのに、赤谷側はこの校区の取り決めに無視してひきょうにも主流派に賛成し、上屋敷より五町も遠い童子ヶ島に統合校を

幻の中部校敷地

赤谷上屋敷



## 中仙田川東の主張

建てる案になってしまった。だから、三集落で申し合わせた「上屋敷案」が通らなければ、オラはあくまでも現状維持を主張するよりどうしてみようもない。

中仙田は、童子ヶ島へ新設校を建てることに賛成する浜海川西と、中仙田校の廃止に絶対反対を唱える川東の集落に分かれて争ったが、川東側の言い分はおおむね次のとおりであった。大正十一年に今の中仙田校を

建てる時、同じ中仙田のムラでありながら地元という理由で多額の負担を強いられた経緯がある。学校が川東側に移ってネラはうまくやったと言われて、人足も川西の衆に比べると二割かた余計に出ている。その時のツケがまだ残っていて骨折っているのに、その学校を絶やしてまた新しい学校を造るとは何ごとかだ。童子ヶ島へ建てることになればそれなりにまた負担を強いられ、通学距離も遠くなり、そのうえ苦勞して造った学校が廃校になればオラはやり切れない。現状維持がなせ悪いのか。

## 多数派の強行に騒然

昭和十二年六月二十四日に開かれた村会協議会は、松永村長の示した童子ヶ島への統合案に賛成する多数派の議員が、学校統合を積極的に働きかけて一気に解決する挙に出ようと、これに反対する議員が立ちほだかつて議場は騒然となった。

協議会のあと、多数派の議員が町村制第五十三条をタテに松永村長に本会議の開催を迫ったが、なんとか圓滿に解決したいハラの松永村長はこの要求に応じなかった。このため同法第四十二条により、仮議長を推して議決することにしたが、最年長議員の中条政治(岩瀬)は反対

派でこれに應ぜず、次の年長者である登坂九十二(前村長)が午後三時に議長席に着いた。

## 十三対四で統合可決

この日も岩瀬・大倉・中仙田川東の村民三百人が役場の議場を包囲し、私服の刑事が目を見光らせる中で議長が開会を宣示、中仙田校と赤岩校を統合して童子ヶ島に中部校を建てる松永案を上提した。これに反対する中条政治・中条正福・中条文平・小林忠蔵の四議員は憤然として退場、賛成派の議員十三名が猛烈な野次を浴びながら原案を可決し、午後四時に閉会した。

賛成した議員は南雲保治・押木次郎・高野攻考・佐藤直隆・高橋俊治・江口増之・小川勝平・川崎勝平・田中勝平・齋木繁治・増田哲男・高橋政治・高橋駒治で、法律に従えば、もみにもめた仙田村の学校問題はこの村会で解決したことになる。

## 学校問題は解決か

昭和十二年十一月二十日の「十日町新聞」は、「仙田の学校問題ついに解決」と題してあらまし次のように報じている。仙田村の学校統一問題に最終的な解決を下そうと、県では十八日、同村々議員十八人を県庁に招致して午前十時から岡学

務部長、神田地方課長、松永村長(職務管掌)などが村会議員と懇談の結果、現在の中仙田・赤岩・白倉・仙田の四校を、中仙田と赤岩を合併して三校とし、現在中仙田のみに高等科が併置されているのを白倉・仙田共に高等科を併置、結局三尋常高等小学校に統一することになった。なお、実施の時期については①中仙田・赤岩の合併は適当な時期に県から指定する。

②白倉・仙田の高等科併置は明十三年四月から実現する。ということになった。なお、中仙田・赤岩両校合併後の新設校の位置は同村大字童子ヶ島である一方、県地方課では学校統一問題の圓滿解決を機会に、正式な村長の選任を急がせるはずである。後任村長には自薦・他薦の候補者もあるが、村の大勢は室島増田克治氏の出塵を希望しているようである。

この新聞が報じたとおり、室島の増田克治旦那が昭和十二年十二月一日付で正式の仙田村長に就任、松永敬三郎は同日付で職務管掌の職を解かれた。七か月間を君臨した松永臨時村長が県庁へ帰った日、松永にしごかれた役場職員は、「気使いの人がいなくなつてホツとしたが気が抜けた」と語っている。

# 税について①の作文

今月号から、税を知る週間事業で実施した「税についての作文」の入選作品を紹介します。

十日町税務署長賞並びに

県納税貯蓄組合総連合会長賞

僕たち納税者とこれからの税

川西中三年 相崎貢一

「百三円です。」とレジで聞かされるこの言葉。今はすっかり慣れてしまっているが、消費税がスタート当初の僕はいつも店を出る時、こんな事を思っていた。

「どうして、買い物する度に余計にお金を取らなければならぬんだらう。」と腹立たしい気持ちをおさえながら、疑問に感じていた。

しかしある時、学校で一冊の税に関する本が配布され、そしてそれを読んだ後、今までのあの腹立たしい気持ちと、疑問に思うもやもやした気持ちが、一気に解消された。なぜなら消費税、つまり税金が社会にとつて、とても重要な物だとわかったからだ。整備された道路や橋、緑の茂る公園、交通面では信号や

標識など、身の周りにあるあつて当然の物全てが税金によって支えられている事や、僕たちが今受けている義務教育もそのおかげという事をその本で知った。また、この他にもいろいろな所で役立っているようだが、今のこの社会、何よりも税金を役立たせていかなければならない事があるとも知った。それは、社会保障の充実と環境保護だ。

社会保障の充実については、高齢化社会が進んでいる今、必要不可欠な事だ。現に、これから二十五年後には、高齢者一人に対し働き手二、一人の比率になるそう。そんな今、スウェーデンのように社会保障に力を入れるべきだと思ふ。その結果、国民負担が増すかもしれないが、

「税金で将来の安心を得る」と思えば、誰でも快く納められると思ふ。また環境保護の方では、今問題になっているゴミの処理の他、大気汚染などの公害を解決していかなければならぬ。そして解決すると同時に、税金が住み良い環境・町づくりを徹していければよいと思ふ。

このように税金は、社会のために役立たせ、そして使われていかなければならない物だが、僕達納税者は、それに頼つてばかりではいけないと思ふ。環境保護の事でも、一人一人が周りを汚さない努力をすれば、本来なら環境保護のために税金を使わなくて済むのだ。

納税者の努力と協力、これさえあれば今ある税金は、社会のため、地球のためにも大きく大きく役立っていく事だと思ふ。大昔、権力者が一方的に取る形から始まったこの税。そして長い年月が立ち、その税が今の税に至っている。だが同じ税という名の物なのに大きな違いがある。それは、今の税は人々の願ひ・幸福を実現するためにあるという事だ。決して大昔のような、権力者の私利私欲のためにあるものではないのだ。だから今こそ「取られる」という気持ちから、「自分のために納める」という気持ちに切り替えたらどうだろうか。そうする事により一人一人が嫌な気持ちなどを持たずに、気持ち良く税を納められるのではないだろうか。

出生率の継続的な低下などに伴い、「健やかに子供を生み育てる環境づくり」が社会全体の課題となっています。そんな中で、これまでの民生児童委員の活動をバックアップし、子育て相談など地域における児童や家庭の福祉を推進する

## 宝くじの収益金還元で 仙田コミュニティセンター が完成



仙田地区のコミュニティ活動の拠点です

が完成

仙田地区開発振興協議会では、仙田地区のコミュニティ活動を振興し、明るい村作りを進めるための拠点として、長年センターの建設を望んでいました。

このたび、平成五年度事業として、(財)自治総合センターから宝くじの収益金二、五〇〇万円の助成を受け、仙田コミュニティセンターが完成しました。

## 新たに主任児童委員が委属されます

出生率の継続的な低下などに伴い、「健やかに子供を生み育てる環境づくり」が社会全体の課題となっています。

そんな中で、これまでの民生児童委員の活動をバックアップし、子育て相談など地域における児童や家庭の福祉を推進する

人材として、平成六年一月一日主任児童委員が設置されます。

お子さんの問題や児童の健全育成活動などについて、身近な民生児童委員又は主任児童委員にお気軽に相談ください。

お問い合わせは、役場住民課 社会福祉係へ。

# だより 図書室

## 新刊小説案内

○蔵 上・下 宮尾登美子  
著者自身、「こんなことは初めて」と驚くほどの反響を呼んだという毎日新聞連載小説の集大成版。本県亀田町の酒造家を舞台に、失明という運命と闘いひたむきに生きた女、烈の物語。  
○否認 読売新聞社 堀田力  
ロッキード事件を担当した元検事が書いた小説。ゼネコン汚職の実態をえぐる法廷サスペンスであり、しかも恋愛小説でもある。読みだしたらやめられぬ面白さがある。  
○麻酔 朝日新聞社 渡辺淳一

医療事故をテーマにした朝日新聞連載小説の集大成版。子宮筋腫の手術を受けた妻は麻酔からさめない。眠りつづける妻にひたすら心を通いあわせようとする夫。極限の夫婦愛を描いた大反響のロマン。  
○集団左遷 江波戸哲夫  
不況にあえぐ財閥系不動産会社を舞台にした小説。不良在庫を売って実績を残すか、さもなくば大量解雇か……。左遷部隊の雇用を守るために闘う男と人事担当者の因縁の対決の果ては……。

○深い河 講談社 遠藤周作  
著者が七年ぶりに書下した純文学長編小説である。人生の岐路で死を見た人が、過去の重荷を心の奥にかかえながら、深い河のほとりに立ち何を思うのか。人生の神秘を問う傑作である。



## かわにし 俳壇

### 太田白南風選

少しだけ青空が見え落葉たたく

上野 内山 寛平

紅葉の山高き峰下弦月

新町 若山 向山

落葉して梢明るき大櫓

大倉 中条 石平

蛙の身の入りし芋汁うまさこと

上野 入沢 はや

小春日や取り残こされた豆おとす

野口 村越 幸

晩秋の柚子鈴成りの道ばたに

厚木市 川崎 保一

初冬や職安探す異国人

上町 高橋 願似

軒下の下大根のしなやかに

元町 上村 トミ

しなの路のもみじ色濃く肌寒し

原田 大平 きみ

ケーブルに乗って紅葉を下に見る

八王子市 松浦 サク

参道に日のあるうちは小豆干す

元町 金子 鉄平

千歳飴ひきづり乍ら宮居道

浦和市 登坂 博史

掃き了えしあとの落葉の美しく

寺尾 白井すみい

大銀杏落葉参道黄に染めて

高倉 斎木 和人

軒せまく大根すだれ秋深む

岩瀬 登坂伊智子

手もぎせし柿の甘さよ友の庭

綾瀬市 野沢ますえ

三山に雪化粧見る今日の晴れ

木落 丸山 詩朗

朝空に煙ひとすじ落葉焚き

志木市 山田十九二

着ぶくれし病後の体撫でる風

野口 村越 由喜

棟上げの祝いの席の菊香る

中仙田 高野仙蒼子

小春日の布団は温み抱きしまま

山野田 藤田ひろ志

櫛けする如くに落葉しぐれかな

千手 長野 キミ

農継がぬ子に凶作の米送る

練馬区 須藤 遊人

踊り出す人形時計師街走

足立区 駒形 頼太

野沢菜を取る忙しきや雪間近か

野口 五十嵐トラ

昨年の番号とおり冬囲い

小白倉 田中 優美

釣人の影の遠くに芦枯る、

足立区 涌井ハル子

初霜に芋の取入れ急がる、

下平新田 清水きよし

亡祖母の命日思うカナンかな

野口 村越 春野

帰り花未だ咲く書ありにけり

赤谷 登坂 酔月

陽だまりの庭の小菊に蜂集う

野口 野沢 静江

蜜柑狩り向いの山へ声とどく

伊勢原市 金子 桂吉

初雪に恙なきやと娘の電話

小白倉 江口みゆき

走る子等追いかけてゆく落葉かな

仁田 戸田 貞

小夜時雨あられ混りとなりけり

霜条 大海 白涛



## 善 意

(敬称略)

社会福祉に

西野美枝 (練馬区)

1万円



先般行われた教室 (11. 20)

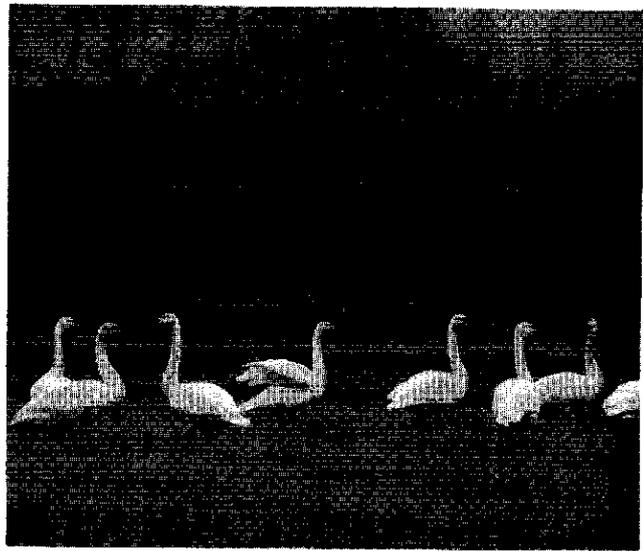
## ユニバーサルホッケーを楽しもう

皆さんは、「ユニバーサルホッケー」というスポーツをご存じですか。このスポーツは、軽いオレンジとグリーンのステックを用いて、穴のあいたイエローボールをドリブルし、パスを

しながらゴール(1.8×90センチ×50センチの箱型)にシュートして得点を競います。ゲームをする選手は一チーム六人で行い、交代の選手六人をおき、コートは、室内ではバス

ケットボールのコートを使用します。ホッケーのように過激ではなく、子供や女性でも気軽に楽しめます。皆さんに親しんでもらうために、教育委員会では教室を開催しています。ぜひ、参加してみてください。

# カメラ散歩



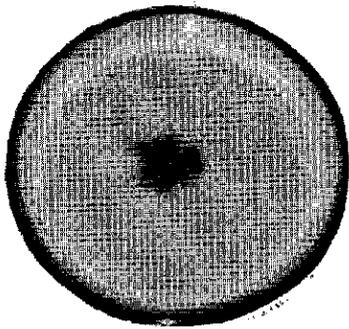
白鳥が下島地区にも訪れるようになりました。この日はかなり多く、20羽ほどがエサをついばんでいました(11.10)



農業祭では恒例になった大なわとび大会。1回も飛ばずにこけてしまうチーム。百回も飛ぶチーム、一回ごとに場内は喚声のため息でいっぱいでした(11.7 川西中)

## 手軽にできるふるさと味の味④

### カボチャスープ



#### ■材料

- ・カボチャ 300g (1/4程度)
- ・牛乳

#### ■調味料

- ・コンソメ 大きじ1
- ・バター 小さじ1
- ・塩

#### ■調理方法

- ①カボチャは薄切りにし、かぶるくらいまで水を入れ、溶ける程度まで煮てこす。
- ②こしたものを別の鍋に移し、コンソメを入れて煮る。
- ③コンソメが溶けたら、塩で味を整え、食べるときにバターを入れる。パセリのみじん切りを散らすと色どりがよい。

## 「ご存じですか」リハビリ教室

町では、寝たきり予防と仲間づくりをねらいとして、今年五月から脳卒中後遺症で外出の機会が少ない方を対象に、「リハビリ教室」を開催しています。

これは、老人保健法による機能訓練事業として、保健センターを会場に実施しているもので、今年も十二回実施しました。

理学療法士、保健婦、看護士、ホームヘルパー、ボランティアが携わり、療法士の指導で体操や個別訓練をしています。こわばって動きにくくなった関節を伸ばしたり、筋肉をつけたりして、平衡感覚を身に付ける運動

が取り入れられています。また、レクリエーションや茶話会などで交流を図っています。

参加者からは、「家でも起きている時間が長くなった。天気の良い日は散歩や時間を決めて運動をしている。仲間と会うのが楽しみで参加している。送迎してもらえるのでありがたいな」という声をいただいています。

冬季は教室は休みとなっております。来春再開を予定しています。参加を希望される方は、ぜひおいでください。

これからの時期、雪が積もって体の不自由な方にとって外出が困難になります。こたつにあたってばかりでなく、身体を動かしましょう。自分でできる日常動作は、できるだけ自分で行い、運動を毎日根気よく続けることが重要です。家族の理解と協力を得て、継続してほしいものです。

理学療法士からひと言!

普段、前かがみの姿勢になりやすいので、うつぶせの姿勢をとり、手をできるだけ上方に挙げて、体を伸ばすようにしましょう。



運動会の一場面。水をにぎってしりとりでです

# 戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

高橋 彩松 由二女寺尾

渡貫 隼也 徳夫 二男新町新田

押木 聖弥 郁夫 長男田戸

古沢 優美 実 長女上野

宮 優子 正朗 長女山野田

たかさご—ご円満に

高橋 透 仁田  
佐藤 みゆき 小千谷市から

# もちつき

その昔、東京がまだ江戸であったころ、職人たちが大八車にかまどやせいろ、うす、きね、まきなどを積んでまちを回り、もちつき歌に合わせて身振りも面白く、もちつきをした風習があったようです。

幼稚園や保育園では、年末の行事としてもちつきをすることがよくあります。また、地域おこしや商店街のイベントとし

樋口 勝茂 中里村から  
小林 まゆみ 中仙田  
登坂 正男 岩瀬  
柳 みどり 十日町市から  
星名 隆昭 伊友  
桑原 貴子 十日町市から  
村越 嘉貴 野口  
平沢 真佐子 小千谷市から  
和田 義幸 小千谷市から  
丸山 良子 根深  
昇天—ごめい福を祈る  
相崎 幸夫 46(徳一) 沖立  
木村 清子 70(哲夫) 仁田  
酒井 幸平 77(十吉) 上町  
丸山 義人 86(重信) 根深  
櫃間 タケ 87(利二) 伊友  
野上 ヤス 94(久男) 栄町  
(11月1日~30日届け出分)

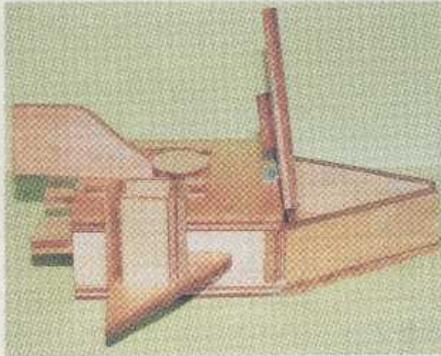
て、さらに、観光地の旅館や民宿でも、観光客の参加によるもちつきが盛んです。かけ声を発しながらペタンペタンとつくもちつきは、いまは出し物的な存在になりました。  
しかし、正月を迎え、もちを食べるといふ風習は、変わりがないようです。



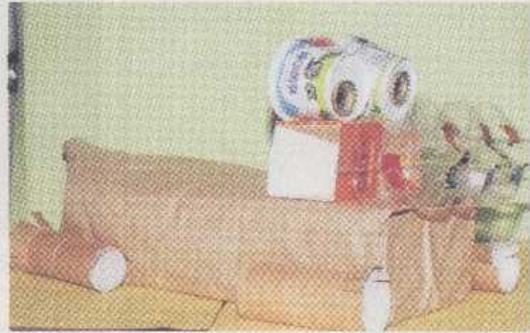
# ちいさな展覧会

65

白倉小学校



6年 中村蔵幸君



1年 かたぎりてつや君



6年 片桐八千代さん



6年 桐生和久君



6年 田中恵梨香さん



3年 片桐美穂さん

(1月号は川西中学校です)